

氏名	藤 森 照 良
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1331 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和57年12月31日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学 位 論 文 題 目	子宮腔部微細血管構築の研究 特に形成過程及び pattern 分析による mosaic 所見の Grading について
論 文 審 査 委 員	教授 村上宅郎 教授 大塚長康 教授 小川勝士

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

鋳型走査電顕法を用いて， colposcope で見られる種々の mosaic 像を微細血管構築の面から検討し以下の結果を得た。

- 1) 化生上皮でみられる mosaic は，上皮下毛細血管網の一部と考えられる一本の血管が水平の loop を形成しているに過ぎない。
- 2) 腫瘍性病変で出現する mosaic は，上皮下毛細血管網より上皮側に突出した basket 構造を形成している。
- 3) basket 構造は軽度異型上皮において上皮下毛細血管網から突出した hairpin 様血管が横に連絡することによって形成される。
- 4) basket 構造は高度異型上皮～上皮内癌において，その堅固な構造が完成される。
- 5) basket 構造は病変の進行と共に深く，大きくなり，その側壁表層部の血管は増生，癒合，怒張が著明となっていく。
- 6) basket 構造の破壊は初期浸潤癌に至って初めて，その底部及び側壁表層部に出現する。

以上， mosaic の形成過程と病変に伴う変化を立体的に明らかにし， mosaic の pattern 分析による組織学的病変進行度の推定を可能にした。

論文審査の結果の要旨

本研究は鋳型走査電顕法を用いてヒト子宮腔部の微細血管を調べたものであるが、従来必ずしも明瞭でなかった同部の特に病変による血管立体配置の変化の本態を解明したものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。